

車いす葦原海さん 県内散策 バリアフリー旅情報発信



車いすで観光を楽しむ葦原海さん(室戸市の室戸岬)

「と、スマートフォンで撮影していた。室戸岬での観光を満喫した葦原さんは「スロープや道が整備されていて動きやすく、砂利でこつこつした場所など自然をしつかり残しているのもよかったです」と評価。高知県の良さを発信し、私と同

じ車いすユーザーの視点で気になるところも伝えていきたい」と話していた。
18日は安芸郡北川村のモネの庭マルモッタや安芸市の内原野陶芸館など、19日は高知市の桂浜と吾川郡の町の紙の博物館を巡る。(板垣篤志)

入野砂糖あめ色に 黒潮町 生産始まる

【幡多】幡多郡黒潮町の冬の特産品、入野砂糖(黒砂糖)作りが始まった。同町入野の加工施設では未明からサトウキビの搾り汁をじっくり煮詰め、つやのあるあめ色に仕上げている。
同町では江戸期に黒砂糖作りが始まったとされるが、戦後一時衰退。約30年前に地元有志が復活させ、現在では「入野砂糖研究会」として、町内の農家26戸がサトウキビの生産・加工に関わっている。

15日夜は約1700トンを機械で搾汁した。16日午前0時から釜に火を入れ、200リットル入。搾り汁が「通過する釜は三つで、それぞれあくを取る、糖度を上げる、最後の煮詰めが役割。松の薪をくべて火力を調整しつつ竹棒でかき混ぜ、と(47)は「寒い日があつ

地空 jikuu

報道部

大山 泰志

4年前とはあまりに対照的な結果だった。衆院選高知2区で自民党新人の前知事に敗れた、立憲民主党の広田一氏。前回は大経験2度の自民ベテランを、野党共闘で打ち破った。それが今回は相手が変わったとはいえ、ダブルスコアの完敗。広田氏は「反応は悪くなかった。追い上げていると思ったが…」と唇をかんだ。
「ここ数年、県内野党は共闘に活路を見いだし、共産党の志位和夫委員長が「高知は共闘が一番深化している。特別な地域」と言うほど連携を強めてきた。

「深化」の真価

NPO 必要性再確認7割

コロナ禍の県内 収入減4割

130法人調査

【室戸】モデルで車いすユーザーの葦原海さん(24)は千葉県が17日から、室戸市など県内の観光スポットを巡っている。19日まで2泊3日で各地を回り、会員制交流サイト(SNS)などを通じて見どころやバリアフリー情報を発信する。葦原さんは、2014年に交通事故で両脚を切断。車いすユーザー(東京都)が企画。動画

た(福祉分野の団体)など、やりがいを感じる



薪でじっくり煮詰められる黒砂糖(黒潮町入野)

【嶺北】長岡郡本山町の嶺北高校の生徒が嶺北産の米粉を使っ

13日は生徒が高知市帯屋町十目のアンテナショップ「てんこす」でも販売し、サンプルを試食した男性は「カボチャの甘みや粒がしっかりと残って